

# 済生会図書館連絡会における学術・情報支援と連携

## － 済生会のスケールメリットを生かして（第2報） －

高崎千晶<sup>1)</sup>，相澤まゆみ<sup>2)</sup>，相澤康恵<sup>3)</sup>，石井 恵<sup>4)</sup>，  
佐藤正恵<sup>5)</sup>，番場絵里子<sup>6)</sup>，深谷里子<sup>7)</sup>，吉原理恵<sup>8)</sup>

1) 済生会川口総合病院 医療秘書課図書室， 2) 東京都済生会中央病院 医療情報センター図書室， 3) 済生会横浜市東部病院 人材開発センター図書室， 4) 群馬県済生会前橋病院 病歴管理図書室， 5) 千葉県済生会習志野病院 総務課図書室， 6) 水戸済生会総合病院 図書室， 7) 埼玉県済生会栗橋病院 総務課図書室， 8) 大阪府済生会中津病院 事務部長室図書室

### 【背景】

済生会図書館連絡会（以下，本会）は，「済生」941号（2007年11月号）の特集「病院図書室」の執筆を機に済生会病院図書室担当者が情報交換を始めたことに端を発し，2010年正式に発足した。現在 24 施設の図書室司書および図書購入担当者が登録している。済生会施設内図書室の充実と向上，学術支援を通じ済生会事業の発展に貢献することを目的とし，図書室担当者相互の緊密な協力と研鑽を行なっている。成果と今後の計画については2017年1月に第69回済生会学会で発表したが，今回は第2報として新たに実施した点を報告する。

### 【活動内容】

常時は，情報の交換や共有，文献複写の依頼，看護や臨床研修，地域支援に対する相談などにメーリングリストを使用している。2011年より済生会のスケールメリットを生かし電子リソースのコンソーシアム事業を開始，2016年度は5社7商品において済生会コンソーシアム価格での購入が成立し全体で約1,700万円を削減した。2014年より担当者研鑽と交流のために，各済生会施設にて研修会を年1回開催。2015年，本会有志にて臨床研修医向けの文献検索ガイドを作成し，全国の済生会病院で文献検索に使用できるようにした。2016年8月，済生会研究組織活動補助の対象として認められ，この助成金により2017年2月にPubMed勉強会の開催，同年5月に本会ウェブサイト（<https://lib-saiseikai.jimdo.com/>）開設が実現した。同年9月に済生会本部で開催する研修会もこの資金を基に，パソコンを用いた検索実習を行う予定である。

### 【今後の課題と展望】

現行活動の継続のほか，全国済生会で使用可能な各種検索マニュアルの作成などが挙げられる。ウェブサイトの活用や研修会の開催は，図書室担当者の知識や情報のアップデートとなる。継続的・横断的にスケールメリットを生かした活動を発展させ，各図書室の質向上と担当者のスキルアップを目指す。さらには地域医療者の支援へつなげ，幅広く医療に貢献していくことにより，医療・保健・福祉事業を展開する済生会の目的に合致すると考える。